

令和３年度 第１回伊賀市文化財保護審議会会議録

日 時 令和３年６月２５日（金）１３時３０分から１５時３０分まで

場 所 伊賀市役所２階会議室２０２

出席者 滝井利彰会長 福田良彦委員 穂積裕昌委員 瀧川和也委員 長村祥知委員
平山大輔委員

事務局 月井事務局長 笠井課長 福島主幹 其道主幹

傍 聴 ２人

１．開会の挨拶

月井事務局長

２．報告事項（別添の資料１により説明）

（１）文化財保護関係事業について

令和３年度事業について報告（以下事業を実施することについて説明）

- ・国史跡伊賀国庁跡保存整備事業(国補助)
- ・重無民上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業(国補助)
- ・重文 町井家住宅主屋・書院防災設備保守点検事業(国補助)
- ・重文高倉神社本殿ほか２棟防災施設整備事業（国補助）
- ・県指定春日神社拝殿保存修理事業(県補助)
- ・市指定常福寺鳳凰彫刻保存修理事業（市補助）
- ・国登録長谷園主屋茅葺屋根差し替え事業
- ・国登録上野文化センター改修事業
- ・伊賀市文化財保存活用地域計画策定事業（国補助）
- ・伊賀市歴史的風致維持向上計画進捗管理事業
- ・日本遺産魅力発信事業

（委員からの意見等特になし）

（２）埋蔵文化財保護関係事業について

本調査１件、試掘調査４件、立会調査７件報告

（委員からの意見等については以下のとおり）

委 員：立会調査の内容で、配線・杭設置時とは何か？

事務局：太陽光発電の単管敷設工事です。

委 員：地形の改変はありますか。

事務局：ありません。

(3) 指定文化財の現状変更等について

①国指定文化財

有形（1件） 史跡（8件） 名勝及び史跡（2件）

天然記念物 オオサンショウウオ（19件）、ヤマネ（1件）、ネコギギ（1件）

②県指定文化財

有形（3件） 史跡（3件） 史跡名勝（1件）

③市指定文化財

有形文化財（7件） 史跡（1件） 天然記念物（1件）

(委員からの意見等については以下のとおり)

委員：城之越遺跡の庭園活用事業の終了日を教えてほしい。

事務局：第1期が終わり、2期目に入っている。終了日は確認します。

委員：掘立柱遺構に展示のオブジェが置かれていたので、適正に対応してほしい。

事務局：対応させていただきます。

委員：真盛廟のアライグマ被害について

事務局：5月末から6月になっても被害があり、アライグマの習性で檜皮に被害が出ている。

銅板を貼って応急処置を施している。

委員：治田薬師寺の五輪塔について

事務局：お寺の改修工事の際、境内の西側にあったものを元の位置（南面）に戻した。

委員：旧上野市庁舎南側のガラス損傷について

事務局：警察に被害届を出しているのと、侵入できないようにしている。投石被害ではないか不安であるが、以後被害は出ていない。

事務局：東谷観音寺の仏像の現状変更については、瀧川委員に大変お世話になりました。

(4) 調査について

有形文化財（34件）

民俗文化財（10件）

記念物（40件）

(委員からの意見等については以下のとおり)

委員：旧上野市庁舎活用検討委員会の状況について

事務局：文化財指定になる前の図書館の基本設計と指定になってからの保存活用計画との整合性が課題である。3月末と5月下旬に会議をして、7月に会議をする予定です。

委員：耐力壁の設置をどう考えるかがポイントである。

委員：議会では議論されているか。

事務局：6月議会では文化財についての質問は何も出ていない。

委員：奥知コレクションについて信楽に行っているようであるが経緯は？

事務局：当時所管の観光戦略課が交渉して、県立美術館への寄託が無理であったため、ミホ

ミュージアムに話がいった経緯がある。３４点の内１１点は伊賀焼伝統産業会館にある。県教委からも指導を受けており、将来は市内に戻せるよう検討していく。

委 員：波敷野の野城古墳について

事務局：土取り予定です。実施するかどうか検討中である。

<以降非公開>